



中央大学高等学校

CHUO
UNIVERSITY HIGH SCHOOL
2023

中央大学高等学校

未来への誓い

私たちは、試練を乗り越えてきた先輩から、決して諦めない心を学びました。
そして後輩へ、
新たな挑戦をし続け、何事にもくじけない心を伝えます。
今、世界はかつて経験をしたことのない困難に直面し、
大きな苦しみにあえいでいます。
私たち自らが灯となって世界を照らし、
輝かしい未来を築く先駆けとなることを誓います。



【 PLEDGE FOR OUR FUTURE 】

We have succeeded with our never-say-die attitude. Our past graduates have overcome many obstacles. They would like to pass on their unbreakable spirit to future graduates, to help them deal with the challenges they will face throughout their lives. Currently our planet is facing unheard-of difficulties. People are suffering from a wide variety of problems. We now vow to set an example and be a guiding light that illuminates the world. We will take the lead in creating a peaceful society for future generations.



中央大学高等学校校長
中央大学理工学部教授

今井 桂子

中央大学高等学校は、昭和三年(1928年)に設立され、中央大学の附属4校の中で最も古い歴史を有する学校です。中央大学の学風である「質実剛健」の精神と「家族的情味」のある環境の中で教育を実践することを目標としています。「質実剛健」の精神とは、物事に常に誠実に真正面から取り組み、困難にひるむことなく主体的に考え行動することのできる精神のことです。そして、本校における「家族的情味」のある環境とは、生徒一人一人の顔が見える親身な教育を通じて、生徒・教職員・保護者が互いに理解と強調を深め、全人的な成長を目指す環境のことです。

高校生活を通して、生徒の皆さんがそれぞれの可能性を大きく広げ、人間として大きく成長することを願っています。生徒の皆さんには将来の可能性を狭めてしまわないために高校生活において、すべての教科の勉強に真摯に取り組み幅広い視野を養い、人間として大きく成長して欲しいと思います。

若い世代の皆さんには、日本の社会、そして世界中が大きく変化して行く中で、他人を思いやる心を持ち、教養と知性を備えた国際人であることが求められています。中央大学高等学校では「質実剛健」と「家族的情味」を柱として、生徒全員が生涯にわたって社会において活躍することができる素養を身につけられるような環境を整えてまいります。

自分を育てる、世界を拓く。



次代を担う「真」のリーダーの育成を目指す。

「質実剛健」と「家族的情味」が育むもの

『質実剛健』とは、時流に流されず、忍耐強く、自らを磨いていくこと。『家族的情味』とは、一人ひとりの顔が見える親身な教育を通じて、教師と生徒、保護者を加えた三者が親しみと信頼関係を築くという意味が込められています。これら2つの理念のもと、生徒の個性を健やかに伸ばすとともに、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育てていきます。

「自立」と「自律」のこころを育む

『自立』とは、親や他人に依存することなく、自分のことは自分でする心のこと。そして『自律』とは、物事の正邪をしっかりと見極めて、自分の行動を正しい方向へと導く心のことです。私たちは、日々の勉強、部活動、委員会活動などの集団活動や各種行事を通じて生徒の社会性を陶冶し、本当の『自立』と『自律』に導くことをめざします。

高い志を実現する「真」のリーダーを育成

『真』のリーダーとは、情報を知恵に昇華できる「学力」、人を惹きつける「徳力」、身体・精神双方の意味を含んだ「体力」の3つの力を備えた人物のことです。生徒たちにはそのような魅力のある人物になってもらいたいのです。そのためにも日々自覚を促しながら、毎日の生活を丁寧に生きることで、徐々にその力を身に付けさせていきたいと考えています。

沿革

本校は昭和3年（1928年）に中央大学最初の附属校である「中央大学商業学校」として創立されました。当初は商業科のみの夜間定時制の学校として開校されましたが、平成5年（1993年）、昼間定時制に改め、現在の姿へと変遷をとげました。
質実剛健・家族的情味——本校では、中央大学の学風として今に受け継がれるこの二つの理念を体現する落ち着いた友愛に溢れる環境の中で、生徒の個性を健やかに伸ばすと共に、卒業後の飛躍へ向けた基本的な力を育てていきます。
平成30年（2018年）に創立90周年を迎え、普遍的な教育理念に磨きをかけ、更なる発展をめざします。



「質実剛健」の精神と「家族的情味」の環境の中で
生きる力に溢れた広く社会に寄与できる人物を育てる。

将来を見据え、長い目で生涯の成長を支える

高校・大学の7年間をひとつのまとまりと捉えています。これを前提とした場合、大人と子供の間存在的存在である高校生の段階では、将来、社会の構成員として有為な人物・信頼されるリーダーとなるための「基礎的資質と素養」をしっかりと身につけることが重要です。そのためにも、長い目で生徒の成長を支える学校でありたいと考えています。

良識ある大人の基準による常識を伝える、生徒指導・生活指導

挨拶の励行、校則（生徒心得）を理解し、守ることのできる姿勢の獲得と同時に、クラス活動・課外活動・各種行事を通じた人間関係構築の機会を作り、その努力を応援します。また、他者の話に耳を傾け、理解しようとする気持ちや、相手を認める心（寛容の気持ち）の大切さを伝えます。それらを励行できる体制と雰囲気が本校にはあります。

「知識」と「探求」

附属校であれ、受験校であれ、「知識」の獲得と「探求」の姿勢が求められることは「あたりまえ」のことです。本校では、受験に捉われない附属校であることから、詰め込み型の「知識」の習得ではなく、「探求」の授業にも対応できる基礎学力の育成を目指しています。また、比較的小規模であるという特長を活かして、小テスト・宿題・課題などのきめ細かなチェックを行い、読書・新聞・レポート・発表などを通じて自ら学ぶ・考える・自分の意見を発信できる能力と姿勢を伸ばしていきます。

英語力に関しては大学入学後を見据え、卒業までに4技能を意識して英検®2級*取得を目指し「0」時限に特講を開いています。取得後は、準1級あるいはTEAP（スコア型）の受験を推奨しています。

*中央大学に推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

在校生メッセージ



3年生 生徒会長
杉並区立天沼中学校出身

考える力を伸ばす材料を与えてくれる中大高の教育

考える力を伸ばす材料を与えてくれるのが中大高の教育です。たとえば『キャリア講座』は、まず自分を見つめ直し、次に“人から見た私”を認識したうえで面談を行います。それにより単純に向き・不向きではなく“私自身がなにをしたいのか”が分かってきます。他にも行事など生徒主体で意見を出し合いながら決定して実行します。様々な機会の中で生徒の意見を尊重してくれる、それが中大高の教育です。

STUDENTS'
VIEW POINT



着実な基礎力の上に、
応用力・実践力を積み重ねていく、堅実な学習指導。

一人ひとりに寄り添う学習指導

大学附属であり、小規模である学校の利点を活かし、一人ひとりを見守りながら学習指導を実施しています。本校には中央大学への進学希望者のみならず、他大学への進学を目指す生徒もいますが、いずれの場合でも必要な基礎学力の定着を図りながら、苦手科目のある生徒には基礎から補強し、力のある生徒にはより上を目指す環境を整えています。

「昼間定時制」の利点を活かす

施設上の理由から「昼間定時制」をとっているため、始業時間は全日制の学校より遅く、朝は9時15分までに入室するのが“通常”です（授業終了時間は15時50分）。そのため、余裕を持って通学することができます。3年間で高等学校の全課程を終了し、進学に向けた勉強や課外活動などは全日制と変わりません。

多様な進路希望に応える学力の養成

1・2年次は大学進学および進学後の学びをより伸ばさせるための「基礎」に重点を置きます。そのうえで2年次より、興味・関心、意欲の高い生徒を対象にした自由選択科目を「0時限」として実施。3年次からは文系・理系、中大推薦希望・他大学受験希望など、進路に合わせた科目選択や各種講座を通して、各自の進学に必要な能力を養います。

在校生メッセージ



2年生 生徒会副会長
狛江市立狛江第二中学校出身

周りの人の意識も高く、目標の持てる環境です

入学当初、勉強は難しい…というイメージでしたが、先生方は個別でも丁寧に解説してくださいますし、授業そのものが面白く、工夫もあって印象に残ります。高大連携では大学の先生が学部・学科の説明をしてくださることで刺激を受けます。附属校なので受験勉強にとらわれ過ぎずやりたいことを充実させられますし、周りの人たちの意識も高いので“自分も！”というように目標を立てられる学校だとも思います。

STUDENTS'
VIEW POINT



中央大学の学生に求められる学力の習得を前提に、1・2年次は、全科目を主要科目と位置づけた基礎力重視の授業を展開。3年次は、希望する進路に応じて文系（3クラス）・理系（1クラス）にわかれ、自ら考える力を養う課題探究型の授業を展開していきます。

1年生 自覚を持つ（基本重視の共通科目）

教員と生徒が心を通わせ合える家族的な校風のなかで日々楽しく学びながら、高校生としての自覚を持ち、今後の学びの礎となる基礎学力を身につけます。

必修単位数	選択単位数
32	6

必修科目		自由選択科目	
国語	現代の国語 2	言語文化	2
地理歴史	地理総合 2		
公民	公共 2		
数学	数学Ⅰ 3	数学A	2
理科	科学と人間生活 2		
保健体育	体育 2	保健	1
芸術	音楽/美術/書道Ⅰ 2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ	2
	英会話Ⅰ 1		
家庭	家庭基礎Ⅰ 2		
情報	情報Ⅰ 2		
総合的な探究の時間	1	※芸術については、「美術」「音楽」「書道」より1科目を選択。	
特別活動	ホームルーム 1		
		英語特講	1
		国語特講	1
		地歴特講	1
		公民特講	1
		数学特講	1
		理科特講	1

2年生 将来を考える（基本重視の共通科目+自由選択科目）

基礎学力に「応用力」を積み重ねるため、数学の習熟度別授業を実施します。第二外国語や特別講座なども開講し、自分の興味・関心、適性を探します。

必修単位数	選択単位数
32	8

必修科目		自由選択科目	
国語	論理国語 2	古典基礎	2
地理歴史	歴史総合 2		
公民	政治・経済 2		
数学	数学Ⅱ 4	数学B	2
理科	化学基礎 2	物理基礎/生物基礎	3
保健体育	体育 2	保健	1
外国語	英語コミュニケーションⅡ 4	論理・表現Ⅱ	2
	英会話Ⅱ 1		
総合的な探究の時間	2		
特別活動	ホームルーム 1		
		第二外国語	2
		英語特講	1
		国語特講	1
		地歴特講	1
		公民特講	1
		数学特講	1
		理科特講	1

※理科については、「物理基礎」「生物基礎」より1科目を選択。

3年生(文系) 文系大学への進学（「文系」の選択）

中大推薦希望・他大学受験希望など、進路希望に適した科目を選択。演習やレポート作成なども加えて、それぞれの進路実現に必要な能力を養います。

必修単位数	選択単位数
30	8

文系 必修科目		自由選択科目	
国語	論理国語 2	文学国語	4
	古典発展 3		
地理歴史	日本史探究/世界史探究 4		
	日本史演習* 2	世界史演習*	2
公民	文系数学 2		
数学			
理科			
保健体育	体育 3		
外国語	英語コミュニケーションⅢ 4	論理・表現Ⅲ	2
	実践英語* 2		
社会研究	社会研究* 4		
総合的な探究の時間	1		
特別活動	ホームルーム 1		
		第二外国語	2
		英語特講	1
		国語特講	1
		地歴特講	1
		公民特講	1
		数学特講	1
		理科特講	1

※「日本史探究」「世界史探究」についてはどちらか1科目を選択。
*「社会研究」を選択、または「日本史演習」「世界史演習」どちらか1科目と「実践英語」を選択。

3年生(理系) 理系大学への進学（「理系」の選択）

中大推薦希望・他大学受験希望など、進路希望に適した科目を選択。理工学部と連携した体験実験を行うなど大学進学に必要な能力を養います。

必修単位数	選択単位数
30	8

理系 必修科目		自由選択科目	
国語	論理国語 2		
地理歴史			
公民			
数学	数学Ⅲ 5	数学C	3
理科	化学 4	物理/生物	5
保健体育	体育 3		
外国語	英語コミュニケーションⅢ 4	論理・表現Ⅲ	2
総合的な探究の時間	1		
特別活動	ホームルーム 1		
		第二外国語	2
		英語特講	1
		国語特講	1
		地歴特講	1
		公民特講	1
		数学特講	1
		理科特講	1

※「物理」と「生物」については、理系の生徒を対象とし、2年次に「物理基礎」を履修したものは「物理」、「生物基礎」を履修したものは「生物」を選択する。

キャリア講座(2年次希望者)

「志」ある人物の育成のため、身の回りにある「課題」を発見し、解決方法を提示するプログラムを実践しています。6名程で構成されるグループそれぞれに企業・研究機構の有志の方がファシリテータとしてつき、様々な助言を頂きます。成果は生徒の前で発表し、ファシリテータの方からの講評と振り返りの会を開き、今後のキャリア形成につなげていきます。

本講座の理論と実践をまとめた本が出版されました。『未来を生き抜く力を育むキャリア教育』（学事出版）



世界銀行元副総裁日下部元雄氏が見学(写真中央)

総合学習講座

各界の第一人者を講師に迎え、お話を伺います。社会と第一線で向き合う方たちの言葉を通じて未知の世界への目を開き、将来を考えるきっかけとします。また、総合的な視野と幅広い教養を得ることで今後の可能性を広げていくことが目的です。



近年の総合学習講座一覧

早稲田大学准教授 松岡亮二氏 社会の現実と向き合う
ロンドン五輪銀メダリスト 杉本美香氏 平成30年度東京都オリンピック・パラリンピック教育推進事業「夢・未来プロジェクト」
株式会社UPQ代表取締役 中澤優子氏 ものづくりの世界
スーパースター 崎原真弓氏 琉球の先人達の生き様から学ぶ肝心(チムグクル)

その他の連携教育

中央大学経理研究所の簿記検定講座を実施し、日商簿記検定試験の3級、2級合格を目指しています。

母校から広い世界へ。

“広く社会に貢献し、新しい時代を築く「真」のリーダーをめざすために” “目まぐるしく変わっていく時代の本質を捉え、他者から必要とされる人物となるために” そんな高い志を芽吹かせ、育て、大きく花開かせるためのあらゆる支援を、力惜しむことなく尽くしていく。それが本校のつとめです。

本校において、進学指導とは生徒たちの人生を切り拓くための羅針盤。大学進学、そしてその先の夢を一人ひとりの生徒が実現できるよう指導を行います。

附属の高校として多くの生徒が中央大学へ進学できますが、本校では生徒個々の適性や可能性にも目を向け、他大学受験も視野に入れた進学希望にも柔軟に対応しています。

放課後には、本校卒業生（令和4年度は東京理科大1名、東京医科歯科大1名）の協力を得てチューター制度を設けるなど、生徒たちが気軽に質問・相談できる環境も整えています。

合格大学一覧（数字は延べ人数、○数字は既卒者 3月19日現在）

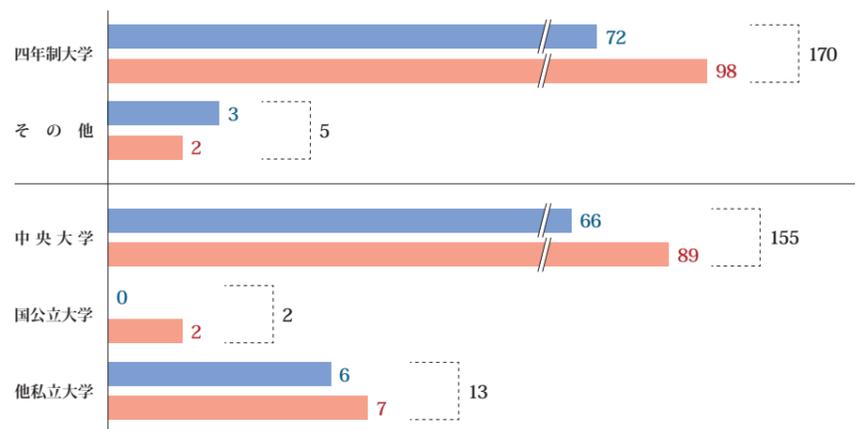
四年制大学(50音順)

国公立● 千葉大学(国際教養学部 1) / 筑波大学(総合選抜文系 1) / 北海道大学(文学部①)

私立● 青山学院大学(経営学部 1、教育人間科学部 1) / 杏林大学(保健学部 1) / 慶應義塾大学(総合政策学部 1) / 上智大学(総合人間学部 2、外国語学部 1、総合グローバル学部 1) / 昭和薬科大学(薬学部 1) / 東京理科大学(経営学部 1、理学部 1) / 東邦大学(薬学部 1) / 日本大学(経済学部 1、生産工学部 1) / 法政大学(経営学部 2、現代福祉学部 3) / 星薬科大学(薬学部 2) / 明治学院大学(社会学部 2) / 立教大学(経営学部 2、経済学部 1、社会学部 1、異文化コミュニケーション学部 1) / 早稲田大学(法学部 1、商学部 1①、文学部 2、文化構想学部 2①、国際教養学部 1、先進理工学部 1) / 横浜薬科大学(臨床薬学部 1)

卒業生の進路状況

令和4年3月卒業生 175名(男子75名、女子100名)



様々な方面で活躍する卒業生

中大高で学び、大学、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、たった一度しかない高校時代になにを学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。勉強のこと、部活動のこと、先生たちとのこと、そして友だちのこと…。色々な思いをそれぞれに抱えながら過ごした「あの頃」を振り返ってもらいました。



Y・O

和文研究会代表、日本舞踊師範
第49回生 平成9年3月卒業
(中央大学 法学部 政治学科卒業 / さいたま市立大谷場中学校卒業)

大人としての接遇とご指導をいただいたことに感謝

思い出深いのは3年次の修学旅行ですね。北海道の大自然に触れながら、クラスの友だちと、それぞれの進路決定を前に悩み事やこれからのことなどを話したことが思い出されます。在学中、先生方には子どもではない年齢の生徒として、大人としての接遇とご指導をいただいたことにも感謝しております。少人数で家族的な温かさを感じられる学校で、クラスメイトも相手を思いやることのできる仲間が多かったように思います。みなさん、限りない夢の実現にどうぞ中大高をめざして下さい。



Y・K

司法研修所(第75期司法修習生)
第66回生 平成26年3月卒業
(中央大学 法学部 法律学科卒業 / 清明学園中学校卒業)

部活や勉強にいい環境の中大高に進んでよかった!

中大高で一番印象に残っているのは軟式野球部最後の夏です。私が部長になった際にはギリギリ試合ができるほどの人数でしたが、先生と相談しながら練習メニューを考え、部員と試行錯誤しながら練習を繰り返し、最後の大会で公式戦初勝利を収めることができたあの喜びは鮮明に記憶に残っています。学習面などにおいても先生方の手厚い指導のもと、自由に自分の学びたいことを学べる環境にあることが中大高のよさ。部活や勉強にとってもいい環境の中大高に進んでよかったと思っています。



C・S

全日本空輸株式会社
第67回生 平成27年3月卒業
(中央大学 法学部 政治学科卒業 / 柏市立光ヶ丘中学校)

できることを考えて、毎日を積み重ねた日々

初心者ながらバスケットボール部に入部したのですが、チームメイトや先生方から上達のコツを教えてもらうなど様々な面で周りに助けられた3年間でした。レギュラーでなくてもチームのためにできることを考え、毎日を積み重ねた日々…。その経験は学生時代のアルバイトやサークル活動、現在の仕事にも活かされています。社会人になった今も交流の続く高校時代の友人も多く、近況報告をし合うたびに刺激を受けています。そんな友人をこれからも大切にしていきたいです。



T・M

筑波大学 理工学群 化学類
第73回生 令和3年3月卒業
(江東区立第二南砂中学校)

最高の3年間を送るための条件がここにあります

印象に残っているのは文化祭です。部活動の仲間やクラスの友人と作業したことはいい思い出です。中大高は委員会など生徒主体で進行する活動も多く、その中でリーダーシップを学ぶこともできました。大学進学に関しては中大への推薦入学の権利を保持したまま他大受験も可能ですし、先生方は熱心に対応してくださるので選択の幅はかなり広いと思います。後樂園という恵まれた土地で趣味も勉強も一杯取り組み、最高の高校生活を送るために必要な条件はすべて、この学校にあります。

中央大学について CHUO UNIVERSITY



1885年、「英吉利法律学校」として創立されて以来、現在に至るまで「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を受け継いでいます。中央大学は、8学部、大学院7研究科、専門職大学院2研究科、4附属高等学校、2附属中学校を擁する総合学園となった現在において、建学の精神は、多様な学問研究と幅広い実践的な教育を通して「行動する知性。—Knowledge into Action—」を育むという本学のユニバーシティ・メッセージに受け継がれています。



多摩キャンパス



市ヶ谷田町キャンパス



後楽園キャンパス

学部学科・大学院研究科

法学部	法律学科/国際企業関係法学科/政治学科
経済学部	経済学科/経済情報システム学科/国際経済学科/公共・環境経済学科
商学部	経営学科/会計学科/国際マーケティング学科/金融学科
理工学部	数学科/物理学科/都市環境学科/精密機械工学科/電気電子情報通信工学科/応用化学科/ビジネスデータサイエンス学科/情報工学科/生命科学科/人間総合理工学科
人文社会科学部	国文学専攻/英語文学文化専攻/ドイツ語文学文化専攻/フランス語文学文化専攻/中国言語文化専攻/日本史学専攻/東洋史学専攻/西洋史学専攻/哲学専攻/社会学専攻/社会情報学専攻/教育学専攻/心理学専攻
総合政策学部	政策科学科/国際政策文化学科
国際経営学部	国際経営学科
国際情報学部	国際情報学科
大学院	法学研究科/経済学研究科/商学研究科/理工学研究科/文学研究科/総合政策研究科/戦略経営研究科/国際情報研究科(設置届出中)
専門職大学院	
ロースクール(法科大学院)	法科大学院は、裁判官、検察官、弁護士などの実務法曹を育成する機関で、「ロースクール」とも呼ばれる専門大学院です。
ビジネススクール	戦略経営研究科戦略経営専攻「ビジネススクール」は、高い倫理観と品性を備え、戦略的思考に基づいて業務を遂行できるプロフェッショナルを育成する大学院です。

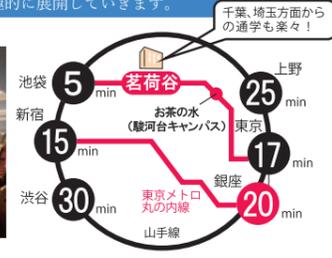
茗荷谷キャンパス(文京区)で新時代を切り拓く法学教育を展開

新キャンパスでは、これまでの法学教育に加え、法学部と法科大学院(ロースクール)の連携教育の強化や、後楽園キャンパス(理工学部)および市ヶ谷田町キャンパス(国際情報学部)とともに、3学部共同講義科目を設置し、社会科学系と理工学系の多方面から分析できる視点を養う教育を予定しています。また、卒業生のネットワークを活かし、社会の第一線で活躍する実務家を多数招いて、様々な角度から講義を積極的に展開していきます。

茗荷谷キャンパス内観イメージ



学生食堂 図書館 教養エリア 大教室



高大連携教育 COOPERATION BETWEEN HIGH SCHOOL AND UNIVERSITY

附属高生の利点 ゼミ生×教授

【経済学部】

経済学部の講義(今年度は後期)をオンラインで本校の教室にて受けられ、経済学部に進学した際に申請することで単位認定されます。その他、特別講義の開講など様々な連携をしています。



R・F
(写真左)
第70回生 平成30年3月卒業
経済学部国際経済学科
令和4年3月卒業
横浜市立青葉台中学校 出身
横浜市役所勤務

佐藤拓也
(写真中)
経済学部長/理事/
博士(経済学)/教授

K・S
(写真右)
第70回生 平成30年3月卒業
経済学部経済学科 令和4年3月卒業
川口市立南中学校 出身
経済産業省 関東経済産業局勤務

佐藤/二人は高大連携プロジェクトの第一期生なんですね。それが縁で彼らは経済学部で学ぶ意欲を高め、そして私のゼミ(主なテーマは「現代資本主義論」)に来てくれたわけですから、これは連携教育のいいモデルだと思っています。経済学というのは正解のない学問ですが、彼らにはゼミを通じて考える力(この力こそ身につけてもらいたいものです)がついていると思いますので、それを社会のなかで大いに発揮してくれると嬉しいです。

F/先生のおっしゃる通り経済は答えがなく多方面から社会の情勢などを学べる非常に面白い学問で、ゼミでは自主性のある人たちが集まり切磋琢磨しながら取り組むことができました。そういったなかにおいて、中大高時代に『キャリア講座』などを通じてプレゼンを学べたことは大きなアドバンテージになったように感じています。

S/高校のときの『社会研究』という授業で興味を持った経済は、考えれば考えるほど何が正解なのかよく分からないところが魅力です。そんな経済を学んできて何かしら経済に関わる仕事をしたいな…という思い、そしていま危機的な状況にある日本の経済・政治をよくしていくことが僕自身のグランドデザインであり、取り組んでいきたい仕事です。

【理工学部】

同キャンパス内の理工学部とは、理系進学者を対象に年3回の特別講義と体験実験教室を開催。また数学科では科目等履修制度により高校からの単位履修が可能です。



長塚豪己 (写真左)
理工学部
ビジネスデータサイエンス学科教授/工学博士

M・K (写真右)
(※2021年 QC検定1級取得)
第69回生 平成29年3月卒業
中央大学 理工学部 経営システム工学科
(現ビジネスデータサイエンス学科)
中央大学 経営システム工学科専攻
(現ビジネスデータサイエンス専攻) 修士2年
葛飾区立新宿中学校 出身

長塚/本研究室は統計学とディープラーニングの理論と応用に関する研究を軸にデータサイエンティストを輩出しています。学生には論理的思考力と説明する力、実践的で高レベルな発想力を身につけてもらいたいと考えていますが、川井君は難関資格であるQC検定1級を取得するなど優秀で熱心、人間性も素晴らしいです。彼がそうであるように、大学は将来に向けた学びを得るための重要な準備機関です。高大連携はそのことを実感できるいい機会です。中大高生にはそれをどんどん活用し、研究室にも足を運び、進路と向き合ってもらいたいですね。

K/中大高での理数系の学びは楽しかったですね。中でも『数学特講』や『中大入学前進路別講習』の授業は大学に入った時に学んでおいてよかったと実感できる内容でした。ビジネスデータサイエンス学科への進学は中大高時代に研究室見学に訪れ、統計学や確率論の分野に興味を感じたからです。大学の授業や研究室の魅力は、社会で必要とされる統計学やデータ分析の基礎を身につけられること。実をいいますと統計学やAI、機械学習などがこれほどまで社会に注目されているというのは進学後に分かったことなのですが、それは同時にやりがいにもつながりました。

年間行事 ANNUAL EVENTS

四季折々のさまざまな体験、はじめての取り組みに戸惑いながらもみんなと力を合わせた文化祭など、学校行事を通じた仲間や先生たちとの交流は、どれも、将来を豊かにするための青春の礎です。本校ではそのような時間も大切な学習と考え、多彩な行事を数多く用意しています。
*修学旅行・ホームルーム合宿は令和元年のものですが。

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 4 ● 入学式 ● オリエンテーション
● 新入生歓迎行事 | 7 ● 創立記念日 | 10 ● 英語検定 ● 芸術鑑賞教室 | 1 ● 推薦入学試験 ● 英語検定 |
| 5 ● ホームルーム合宿(1・2年生)
● 修学旅行(3年生) | 8 ● 夏期講習 | 11 ● 生徒総会 ● 総合学習講座
● 漢字検定 | 2 ● マラソン大会 ● 一般入学試験
● 漢字検定 |
| 6 ● 英語検定 ● 漢字検定 | 9 ● 防災・避難訓練 ● 後楽祭
● 体育祭 | 12 ● 補講習 | 3 ● 卒業式 |



クラブ活動 CLUB ACTIVITIES

10の運動部、9の文化部、そして生徒会、4つの委員会など、約9割の生徒が放課後の活動を行っています。それぞれの部が練習の工夫などにより成果を上げ、バレーやバスケットなどのアリーナ系の部はもとより、グラウンドがない中でも野球やサッカーなどのクラブも活気づいています。

運動部



男子バスケットボール部

試合に臨むための基礎技術や基礎体力はもちろん、相手に対する礼儀や自分を律することを大事にする。それが男バスのスタンスです。



女子バスケットボール部

元気よく声を出して最後まで諦めず一生懸命プレーして、挨拶、礼儀を忘れず、みんなに応援されるようなチームが私たちの目標です！



剣道部

相手を敬う心と礼節を大切に、ケジメはしっかりとつけながらも仲はよく、勝負にのみこだわらない姿勢で楽しく練習に励んでいます。



サッカー部

みんなで作戦を考えて、みんなで動いてみんなで点を取る、そしてみんなで守り勝つ！めざすのは都大会出場と新人戦ベスト4です。



軟式野球部

関わってくれた人に感謝を伝えること、お互い意見を交わしながら日々成長していくことを motto に夏の全国大会制覇を狙います。



男子バレーボール部

選手同志で助け合いながら基礎から実戦まで全てをギュッと凝縮した練習で、全学年いい雰囲気練習しています。初心者大歓迎！



男子バドミントン部

思い描いたように相手を動かせたりプラン通りにショットが決まった時は快感！その瞬間に向けてメリハリのある練習をしています。



女子バドミントン部

大切にしているのは人としての礼儀や相手に感謝の気持ちを持つことです。個人競技ですが仲間と協力するところが女バドの魅力です。



硬式テニス部(男子)

先輩・後輩の仲のよさを継続しつつ、練習ではメリハリをつけ、みんなが楽しみながらも成長できるような部活動をめざしています。



硬式テニス部(女子)

お互いを尊重しながら褒め合ったり意見を交換するなどコミュニケーションを大切にみんなで楽しむ部活動です。マネージャーも大募集！

文化部



茶道部

お点前の作法や浴衣の着付け、和菓子作りや正しい姿勢など茶道を通して日本の伝統を学んでいます。部員主体の、楽しい活動です！



吹奏楽部

一人ひとりが演奏技術を高めてみんなでひとつのものを作り上げた時の達成感が吹奏楽の魅力！初心者歓迎！みんなで挑戦しましょう！



合唱部

文化祭や演奏会などに向けて一生懸命取り組んでいます。みんなで一致団結して作り上げる歌声と歌い終わったあとの達成感は最高です！



文芸部

年2～3回発行する部誌を通して自分たちの書きたい文章を自由に、好きに書いています。大切なのは筆力よりも気持ちです！



パソコン部

eスポーツの大会に向けた練習をするLOL部門とプログラミングやCG、動画編集などを行うIT部門に分かれ、技術と腕を磨いています！



書道部

展覧会へ出す作品作りを通じた個々の能力向上と、文化祭でのパフォーマンスでみんながひとつになることが私たちの目標です！



美術部

水彩画やデジタルでの作画、立体作品作りなど、好きな作品を思い思いに作っています。みんなと楽しく和気満々がモットーです！



演劇部

自分を表現することに勇氣を持てるようになるのが演劇部！先生や先輩の助言を受けて成長でき、考える力、人を見る力も身につきます！



軽音楽部

アットホームな雰囲気自分好きな音楽に取り組めるのが一番の魅力！高校の軽音らしく、観客と一緒に楽しむライブをめざしています！

生徒会



生徒会

生徒たちの、生徒たちによる、学校のための生徒会活動を行っています。他学年と交流する機会も多く、自分の成長にもつながります！

委員会



放送委員会

式典や行事の機材設営や音量調整などを行います。裏方としての気配りを大切にしながら周囲と連携し、スムーズな進行を心がけています。



図書委員会

企画部、図書部、くすのき(冊子)、掲示部の4つの部署に分かれて図書の魅力、読書の魅力を伝えらえるように力を合わせて活動しています！



文化祭実行委員会

見える側・作る側である私たち生徒が来場者の方々のために頑張りました！…という想いと成果が伝わるような文化祭をめざしています！



修学旅行委員会

学年全員の意見をまとめ、行き先やプランを決めるのが私たちの役目。一生に一度の思い出に残る旅行を作り上げようと頑張っています！

在校生のメッセージ STUDENTS MESSAGE

在校生が語る中大高生活

「家族的情味」の言葉に示されるアット・ホームな雰囲気、そして附属校という利点を活かして、多くの生徒が受験勉強のみに捉われない高校生活を送り、部活動や委員会活動などに励んでいます。そんな生徒たちからみた中大高の様子と自身の成長などを語ってもらいました。



3年生／パソコン部
さいたま市立指扇中学校出身

最初のテストで、“やっていけないかも”と（笑）

“ちょっと高望みで記念受験”のつもりが合格（笑）。最初のテストでは下から2番目くらいの成績だったので“この学校ではやっていけないかも…”というようなスタートでしたが、それより下に落ちようがないから気は楽でしたね（笑）。授業も“ちゃんと受けていればできる！”と感じられるもので、小テストも小まめにありますし、周りもポジティブな姿勢を持っている人が多いので自分のやる気も上がってくるんです。部活などを通じて相手のことを考えられるようになったかな…とも思います。それは仲間同士で色んな意見交換ができる土壌が中大高にあるからかも知れません。



3年生／女子バスケットボール部
文京区立第三中学校出身

感謝の気持ちを持つことの大切さを感じています

“中大高でよかった”と思うこと、それはみんながサポートしてくれることです。たとえば部活でもそうです。私たちが入学した2020年春からコロナ禍となり、練習も思うようにできず大会も開催されなかったりしたなか、顧問の先生が試合を組んでくれたり、練習環境を整えてくれたり…。中学の時は“周りの人に感謝しなさい”と言われてもピンと来なかったのですが、はじめて周りで支えてくれる人たちに感謝の気持ちを持つことの大切さを感じることができたのです。中大高は附属校らしく受験にとらわれ過ぎず、様々なことに時間を費やせるのも私には大きなプラスです。



2年生／サッカー部
世田谷区立千歳中学校出身

団結力はほかの高校より秀でていると思います！

学校説明会で在校生の方々と接した時に“情にあつい人たちだな”という印象を受けて、“僕もそういう親味になれる人になりたいな…”と思ったこと、そして先生方が面白く、いい意味で楽しそうに見えたことにも惹かれて受験しました。入ってみても先生方は一人ひとりに懇切丁寧で優しく、生徒はガツガツした感じもなく、“自分が、自分が！”的なタイプではありません。みんなと仲がよくて、全員の意見を取り入れる雰囲気があるので、団結力はほかの高校より秀でていると思います。それはクラスも生徒会も、僕が所属しているサッカー部でもそうです。



2年生／吹奏楽部
大田区立東調布中学校出身

部活動を含めた学校生活を楽しまたくて進学しました

中学生の頃は生活自体が受験勉強がベースになっていて塾のスケジュールに合わせて部活動とか委員会活動をしていましたが、高校では勉強だけではなく、部活動（吹奏楽部）や留学も経験したいという思いもあって附属校である中大高に進学しました。留学は時勢もあって大学まで持ち越しになりそうですが、頑張りたいと思っていた部活は楽しくできています。環境的な部分では大学の施設を共有できるのもメリットですし、生徒の数が少ないので先生方とも距離が近く『家族的情味』という校風も、入ってみると“確かに！”って納得できると思います。

制服 SCHOOL UNIFORM

生徒の意見も採り入れてデザインされた制服。男女共、シャツ・セーター・ベストは2色から選択。女子はリボンとネクタイを好みに応じて選ぶことができ、替えスカートと夏用リボンも着用できます。ボタンは、家族的情味を象徴する「もみじ葵」をデザイン化したものを採用しました。

なお、スラックス・ポロシャツは男女共用とし、スラックスはシルエットが異なる2種類を用意しています。*は任意のアイテムです。



standard

summer

polo shirt *



rucksack *

spring / autumn

在校生メッセージ



2年生 生徒会副会長
世田谷区立松沢中学校出身

どんな人にも居場所のある、温かい学校です！

私は生徒会で副会長という立場にありながら、実はミスをすることが多いですね。そんな時に先生はそれを咎めるのではなく、かといってただ許してくれるような“甘い”ものでもなく、しっかりと改善していく方向に導いてくださるなど“温かい”のです。中3の時は高校生活に向けて友だちのことや勉強に関する不安も多いと思うのですが、中大高はどんな人にも居場所のある温かい学校なので、大丈夫ですよ。

STUDENTS' VIEW POINT

FREQUENTLY ASKED QUESTIONS ● よくある質問

Q. 昼間定時制と全日制の違いについて説明してください。

A. 全日制と定時制の違いは、学校設置基準によるものです。本校は昭和3年に夜間定時制高校として認可を受け（中央大学内に設置）、独自の校地・校舎を持たない状態のまま歴史を重ねてきました。昭和55年に現在の後楽園キャンパスへ移転して初めて独立した校舎を持ちましたが、グラウンドや体育館はないままでした。平成5年に教育課程を変更し、授業時間帯を昼間に移行して再出発しました。しかし、施設面では依然として全日制高校の設置基準を満たせずにあります。したがって、本校は設置基準によって定時制課程と分類されておりますが、授業、特別活動などにおいては全日制と変わることはありません。また、部活動に関しては、すべて全日制の大会に参加しています。

Q. 学校説明会には毎回出た方がいいですか。

A. 対面式の説明会が開催可能ならば、1回はお越しになることをお願いしたいと思います。本校は大学キャンパス内にあり、一般的な高等学校の環境とはかなり違うことをご確認・ご理解いただくためです。ただし、参加回数による有利不利はありません。

Q. 授業のレベルについて教えてください。

A. 中央大学に進学することを前提として、大学での中位以上のレベルになることを目標に授業を行っています。必要に応じて補講が行われ、苦手科目の克服を図っています。3年次には、文系（3クラス）理系（1クラス）に分かれて、それぞれの科目群に重点を置いた学習をします。また、国公立をはじめとした中央大学以外の大学受験希望者のための特別講座も行われています。

Q. 中央大学へはどのくらい進学できますか。

A. 現在のところ約9割の生徒が進学していますが、中央大学の制度改革のため推薦者数に関しては調整中です。高校からの推薦順位は、学業成績、特別活動、出席、資格、実力テストの成績などを総合して算出されます。学業成績が基準に達していない場合には、推薦資格が得られませんので日常の予復習や授業への取り組み姿勢が大切です。また推薦されるためには、現行における英検®2級の資格を有していることが必須となります（ただし、相応の事情があり、その資格を取得できない場合は、校長がその資格に相当する学力を有すると認めた者）。

Q. 部活動、委員会活動について説明してください。

A. 現在運動部10、文化部9、生徒会、委員会4があり、約9割の生徒が活動しています。部活動の加入は強制ではありませんが、高校生活を充実したものにするためには欠かせないものと考えています。ただし、活動場所や

日数には制限があるため、郊外の施設を借用するなど工夫して活動しています。

Q. 始業時間、就業時間が遅いと聞きましたが……また土曜日の授業やカリキュラムについても説明してください。

A. 朝は、9時15分までに入室、その後ショートホームルーム（SHR）、授業。授業終了時間は15時50分、その後SHRと清掃。さらにクラブ活動などが後片付けを含めて18時45分まであって、最終下校時刻は19時です。また、0時限（特別講座、自由選択科目、補講、補習）は8時～9時に行われます。土曜日は土曜講座として、ボランティア講座のほか遅進者対応の特別講習・補習、受験対策講座を開講し、附属校としての特長を活かしつつ、多様な進路に対応するための日として位置づけています。

時程表		
月～金	検 温	7:45 ~ 7:55
	0 時 限	8:00 ~ 9:00
	検 温	8:40 ~ 9:10
	S H R	9:15 ~ 9:25
	1 時 限	9:25 ~ 10:15
	2 時 限	10:25 ~ 11:15
	3 時 限	11:25 ~ 12:15
	4 時 限	12:25 ~ 13:15
	昼 休 み	13:15 ~ 14:00
	5 時 限	14:00 ~ 14:50
	6 時 限	15:00 ~ 15:50
	S H R	15:50 ~ 16:00
	7 時 限	16:30 ~ 17:20
	8 時 限	17:20 ~ 18:10
最 終 下 校	19:00	
土曜日	土曜講座、遅進者対策講座、 受験対策講座、英検対策講座等を行う	

Q. 他大学併願制度について説明してください。

A. 中央大学への推薦を得た人が、その資格を留保したまま（入学金は必要）、国公立大学または中央大学にはない学部・学科（医・歯・薬・獣医・看護）を受験することができる制度です。しかし実際には、附属の高校で推薦資格を取るには全ての授業を誠実に学習することが必要なので〔全科目主義〕、受験勉強との両立には、しっかりとした進路に対する意識や目標に沿った努力と覚悟が必要です。

Q. 入学手続きに必要な費用はどれくらいですか。

A. 入学申込金300,000円、後援会入会申込金7,000円、生徒会入会申込金2,500円が必要となりますが、後援会入会申込金と生徒会入会申込金については、公立高校（東京、神奈川、千葉、埼玉）受験者は、手続きをすることによって公立高校合格発表日まで延納することができます。詳細は、2023年度生徒募集要項でご確認ください。

※学納金は経済情勢の変動等により改定することがあります。

ENTRANCE EXAM ● 2023年度(令和5年度)入学試験概要 EVENT SCHEDULE / ACCESS ● 公開行事 / 交通

	推薦入学試験	一般入試試験
募集人員	男子 25 名 女子 25 名	男女 70 名
出願期間	1月16日(月)※郵送必着	1月25日(水)～2月3日(金)※郵送消印有効
試験日	1月22日(日)	2月11日(土・祝)
合格発表日(本校HP)	1月22日(日)午後10時頃	2月12日(日)午後8時頃
入学書類交付日	1月23日(月)午前10時～11時	2月13日(月)午前10時～11時30分
入学手続期間	1月23日(月)～1月24日(火)※郵送消印有効	2月13日(月)～2月14日(火)※郵送消印有効
延納	なし	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の公立高校を併願し、本校所定の手続きをして許可された者について合格発表日まで納付金の一部延納を認めます。詳細は2023年度募集要項にてご確認ください。
出願資格	1. 2023年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者。 2. 本校を第一志望とし、人物に優れ、素行に問題がないこと。 3. 在学中学校長の推薦を受けた者。 4. 欠席・遅刻・早退が少ないこと。 5. 3年次調査書評定の合計（必修9科目）が、5段階評定で3.7以上の者。 ※3年次2学期まで又は前期末成績に、出願時までの試験等を加味して中学校で作成される調査書 6. 中学校3年を通じた、評定の1・2がないこと。 ※1・2年次の学年末成績及び3年次調査書評定 7. 保護者のもとより通学可能な者。	1. 2023年3月中学校（海外の日本人学校を含む）を卒業見込みの者及び中学校卒業の者。 2. 保護者のもとより通学可能な者。
出願書類	入学志願票綴り（本校指定用紙） 調査書（本校指定用紙） 推薦書（本校指定用紙）	入学志願票綴り（本校指定用紙） 調査書（本校指定用紙）
受験料	30,000 円	30,000 円
試験内容	面接試験： 個人面接約10分、面接官2名 基礎学力調査：国語・社会（60分） 数学・理科（60分） 英語（40分・リスニング含む） 配点：英(45)・国(40)・数(40)・理(35)・社(35)	面接試験：受験生6～7名のグループ面接 約10分、面接官2名 筆記試験：国語（50分）・数学（50分） 英語（60分・リスニング含む） 配点：国(100)・数(100)・英(100)
合否判定	面接試験での判定 調査書・基礎学力調査による総合判定	面接試験での判定 筆記試験・調査書による総合判定

※赤文字は今年度からの変更部分

学校説明会

● 7月24日(日) ● 8月23日(火) ● 10月23日(日)
● 11月20日(日) ● 12月11日(日)

参加方法についてはHPでお知らせします。

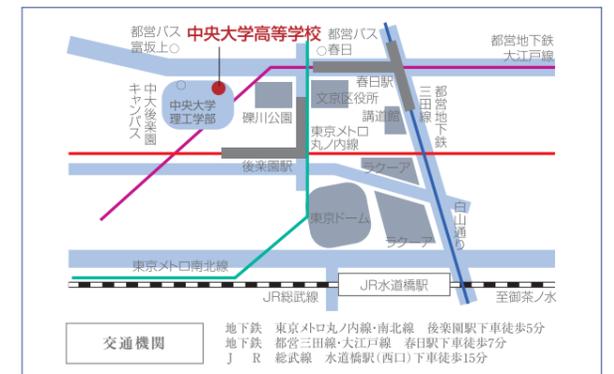
場 所：本校または中央大学後楽園キャンパス 5号館

① 開始時間の30分前から入場できます。
② 保護者および生徒対象の説明会です。
③ 自家用車での来校はご遠慮ください。
④ 上履は不要です。



後楽祭(文化祭)

詳細は決まり次第HPでお知らせします。



「生徒会主催」学校説明会
11月12日(土) …………… 14:00 [完全予約制]
詳細は8月下旬の本校ホームページに掲載致します。

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27
tel. 03-3814-5275
<https://www.cu-hs.chuo-u.ac.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、説明会の日程や出願資格等を変更する場合があります。本校ホームページにおいてご確認くださいませ願ひ申し上げます。